

「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2017年度分）

2017年12月13日

計画研究班名： A02-4

申請者氏名・所属・職名： 松野 健・九州大学応用力学研究所・特任教授

申請者連絡先 電話・メール：092-583-7731・matsuno@riam.kyushu-u.ac.jp

対象者氏名・所属・職名：松野 健・九州大学応用力学研究所・特任教授

対象者連絡先 電話・メール：092-583-7731・matsuno@riam.kyushu-u.ac.jp

相手先氏名・所属・職名：

Noor Azhar Mohamed Shazili・マレーシア大学テレンガヌ校・名誉教授

Guebuem Kim・ソウル大学・教授

SungHyun Nam・ソウル大学・准教授

相手先連絡先 住所・電話・メール：

Noor Azhar Mohamed Shazili,

Institute of Oceanography and Environment (INOS),

Universiti Malaysia Terengganu,

21030 Kuala Terengganu, MALAYSIA

+60-19-9858155

nazhar@umt.edu.my

Guebuem Kim

School of Earth & Environmental Sciences

Seoul National University

1 Gwanak-ro, Gwanak-gu, Seoul 151-747, KOREA

Tel: +82-2-880-7508

gkim@snu.ac.kr

SungHyun Nam

School of Earth and Environmental Sciences

College of Natural Sciences

Seoul National University

1 Gwanakro, Gwanak-gu, Seoul 08826, Republic of Korea

Tel: +82-2-880-4138, Fax: +82-2-871-3269,

namsh@snu.ac.kr

申請項目（複数可、数字を記入）： 3, 5

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者

派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他 ()

申請課題名 : WESTPAC WG06 のワークショップにおける共同研究の枠組みの構築

成果報告要旨 (A4 数枚以上図表・写真等を含む研究成果報告詳細版を別ファイルで添付すること) : 2017 年 10 月 26 日に九州大学応用力学研究所で開催された WESTPAC WG06 「“A framework for cooperative studies in the Western Pacific Marginal Seas: Energy and materials exchange between land and open ocean” : 陸と大洋間のエネルギーと物質の交換に関する西太平洋の縁辺海における共同研究推進の枠組み」のワークショップに招聘し、マレーシアおよび韓国における最近の国際共同研究に関する現状に関する情報を提供してもらうとともに、今後研究が必要な研究内容について意見交換を行い、近い将来における共同研究の枠組みを構築するための議論を行った。

全体計画・計画研究への寄与 : 乱流混合過程を理解することは、海洋研究の様々な側面で重要度を増しており、「新海洋混合学」(OMIX) はそれに基づいているが、特に生態系をはじめとした生物・化学過程との関わりを重視している。東アジアや東南アジアの海洋学では特に沿岸域の海洋環境に大きな関心を寄せており、生態系の理解に混合過程が重要であるということの共通認識を形成することには大きな意味があり、特に若い世代を含む国際共同研究の枠組みを構築するための WG にコミットすることは、OMIX の活動および成果を国際的に拡張する意味で意義が大きい。

制度の改善点・感想等 : 年度開始前における申請とは別に、年度内に生じた活動に対しても随時対応可能である本制度は、有意義に予算が執行できる面がある。

実際の日程 : 10 月 25 日、クアラルンプール/ソウルー福岡移動。

26 日 九州大学応用力学研究所において開催されたワークショップに出席

27 日 福岡ークアラルンプール/ソウル移動

使用した予算内訳 (旅費とその他の経費に分けて記述) :